

言葉や文化の壁を越えた交流 中学生英語体験事業 in オーストラリア



8月18日から23日までの6日間、市内の中学3年生27人が中学校英語体験事業でオーストラリアを訪れました。子どもたちは、身振り手振りを交えながら、授業で学んだ英語を使ってオーストラリアの人々と交流し、生きた英語を学んだり、異なる文化を体験して見聞を広げることができました。

こんなことしてきました！ 研修スケジュール

8/18	常陸大宮市出発、羽田空港～シドニー国際空港
8/19	シドニー市内視察
8/20	現地の授業体験、ホームステイ
8/21	遠足、ホームステイ
8/22	現地の授業体験、お別れの会
8/23	シドニー国際空港～羽田空港、常陸大宮市到着

参加者に聞きました！研修で感じたこと

- ▶英語で会話するのは難しいと思っていましたが、意外と習った単語や文を思い出して、自分の伝えたいことを伝えることができました。もっと英語を覚えて、会話がたくさんできるようになりたいなと感じました。
- ▶最初ホストファミリーに会うとき不安だったのですがとても優しく受け入れてくれたので嬉しかったです。学校で習ったことを生かせたので良かったです。
- ▶日本より焼いたり揚げたりした料理が多くありました。どこでも新鮮な魚や野菜を食べられる日本のすごさを改めて感じました。



1 シドニー視察では、オペラハウスやザ・ロックスなどの観光名所を巡りました。2 家庭科の授業ではオーストラリアの伝統的なお菓子「ラミントン」を現地の子どもたちに教わりながら完成させました。3 木工の授業ではコアラをモチーフにした木のおもちゃを1人1個作りました。4 遠足では、「シンビオ動物園」を訪問し、ヒガシアオジタカゲなどの現地に生息する動物に触れました。5 オーストラリアの先住民族「アボリジニ」に関する授業では、部族が行っていたフェイスペイントの意味を学び、自分の顔で体験しました。6 スポーツ交流では、現地の休み時間の定番スポーツである「タグラグビー」で汗を流しました。